

老上学区 2025.1.31 現在(対12月比) 人口 12,841人(+23) 世帯数 5,756世帯(-1)

48号



老上まちづくりセンターHP



老上学区まちづくり協議会



わがまち老上だより

発行 老上学区まちづくり協議会 編集 情報発信委員会

〒525-0055 草津市野路町 520 番地(老上まちづくりセンター内)

TEL・FAX 077-564-1430 E-mail oikami@machikyou.jp

ふるさと老上のこころ
自主(進取の心)協同(連帯性)
敬愛(人権尊重)



羽ばたけ!

老上っ子!

恒例行事!わんぱく新春書き初め大会!

1月11日に、わんぱくプラザ老上の「新春書き初め大会」が開催され、やる気に満ちた36名の子どもたちが参加しました。

注目の書道パフォーマンスでは、草川^{しげと}薫人先生が大きい筆で「巳」と書く様子を真剣に見つめる子どもたち。草川先生の作品は、蛇が動く迫力が感じられるような力強い見事な作品でした。



今年は多くの子どもたちが書道パフォーマンスに関われるスタイルになり、草川先生が書いた「巳」の文字の周りに、“今年にかける想い”の漢字一文字をひとりずつ書きました。わんぱくプラザ老上代表熊川会長も子どもたちと一緒にチャレンジしました。

その後、草川先生から書き始めのアドバイスを聞き、書き初め開始。無心に筆を動かす子どもたちの真剣な表情が印象的でした。

作品の審査中は、こまや羽子板などの正月らしい昔遊びや、ストラックアウトなどの楽しい遊びで子どもたちは盛り上がりました。

表彰式では、子どもたちの立派な作品が並び、「3年間参加して、初めて入賞できた!」と入賞した喜びの声も聞こえてきました。

来年も多くの子どもたちが参加し、さらに盛り上がることを期待しています。(黒川)



ストラックアウトに挑戦!



「新春のつどい」 今年も開催されました 1月11日



年明け早々、まちづくりセンター駐車場にて「新春のつどい」が開催されました。前日の雪の降る景色と変わってお天気に恵まれ、屋外でのイベントにも大勢の皆さんが参加しました。

「餅つきのまち老上」の黄色い旗をたなびかせ、老上学区社会福祉協議会の方々
は杵と臼でお餅をつき、子どもたちも一緒に体験をしました。カフェほっこの皆さんがぜん
ざいやきな粉餅を、青少年区民育成会議の皆さんはフランクフルトを、JAGUARの部屋の
皆さんは豚汁を、列を作って待つ方々にふるまわれました。

“あたたかくて美味しいね”書き初めに参加された小学生の皆さんとその保護者
の方々も楽しいひと時を過ごされました。(石本 恵津子)



「私の思い 2024」県広場



老上中学校 馬場迫 葵さん 最優秀賞(知事賞)受賞

県内の中学生が自分たちの手で運営する第27回中学生広場
「私の思い 2024」県広場が開催されました。

大会では、24,568名の応募の中から選ばれた12名の中学
生が意見作文の発表を行いました。

「社会や世界に向けての意見、未来への希望や提案」「家庭、
学校生活、社会(地域活動)及び身の回りや友だちとの関わり」
などについて、次代を担う中学生が考えていることを自分の言葉
で熱く県民に訴える貴重な場となりました。

「練習期間」と題してスピーチした馬場迫さんが最優秀賞(知
事賞)を受賞し、「第46回少年の主張全国大会~わたしの主張
2024~」に滋賀県の代表に輝きました。

詳しくは、老上中学校 HP に掲載の内容をご覧ください。

<https://kusatsu.scblo.jp/oikami-j/1796/content/33685>



老上学区の地域協働合校

ゆうごう (融合)

地域協働合校事業は、地域住民と学校、老上学区まちづくり協議会などを主体とした、子どもと大人の協働による地域学習活動です。平成10年度にスタートし、ゆうごう(融合)のシンボルマークで親しまれてきました地域協働合校。今年度の活動の様子をお伝えします。



老上こども園

『見て 触れて 感じて
~豊かな自然体験の中で育つ
老上っ子~』



大きなサツマイモが
たくさん収穫できました!

5歳児がレンゲ畑を散策したり、サツマイモの栽培や収穫をしたりと貴重な経験をさせていただきました。

秋には園庭でふれあいやきいも集会、12月にはもちつきを行い、地域の方々との交流を楽しむことができました。

今年度は保護者ボランティアを募り共に活動していただく中で、地域協働合校との取り組みの大切さを保護者と共に感じる事ができました。

今後も、自然豊かな環境での直接体験を通して、豊かな感性を育みながら保育の充実につなげていきたいと思えます。



園庭でみんなで
おいしく焼き芋を
いただきました。

老上小学校

地域の人と力を合わせて
学習しました!

○安全 安心 おいしいKOME大作戦

ふれあい農業合校のみなさんにご支援を頂き、今年度も5年生が米づくりの体験を行いました。収穫したお米でおにぎりを作っておいしくいただきました。

この学習を通して、お米のよさや大切さに気づくことができました。

○老上まちづくりプロジェクト

6年生はまちづくりセンターとよりよいセンター作りを目指し、庭園の再整備や「かまどベンチ」のペンキ塗りなどの体験活動を行い、地域のために行動することの大切さを学びました。



米づくり 稲刈り



かまどベンチ・ペンキ塗り

老上中学校



「ORプロジェクト(老上再発見学習)
“OIKAMI Rediscovery Project”」

3年生では総合的な学習の時間を活用して、「老上」の素晴らしさや魅力について学ぶ取り組みを行っています。12月4日には、大学生ボランティアや地域の方々ご協力のもと、校区内のフィールドワークを実施しました。そこで改めて気付いたり考えたりした「私の思う『老上』のよさや魅力」について環境・経済・社会の視点からプレゼンテーション資料にまとめ、発信していきます。



フィールドワークの様子



まちづくり協議会

地域協働合校事業
『わんぱくプラザ老上』



今年度は、下記6回の事業を実施しました。

- 6月 国立民族学博物館へのバス遠足
- 8月 夕方から始めた「きもだめしキャンプ」
- 10月 松尾公園へのハイキングと「甲賀の里忍術村」での忍者体験
- 12月 うきうきクッキング&モルック大会
- 1月 新春書き初め大会
- 2月 立命館大学ライフサイエンス研究会の「科学のあそび」



書き初め大会

子どもたちの真剣な目を見たり、生き生きとした顔を見たりして、毎回とても良かったと感じました。これからも子どもたちに色々な新しい体験や経験ができる様にサポーターの皆さんと事業を進めてまいりたいと思います。

教えてほしい！インタビュー

失語症者向け意思疎通支援者

磯嶋 玲子 さん



「失語症者向け意思疎通支援者」ってどんな資格？何をやるの？

— まず失語症とは何でしょうか。

失語症は、「話す」「聞く」「読む」「書く」などがうまくできなくなった状態です。失語症と言っても全ての症状に当てはまるのではなく、私が出会った方々だけでも読むことが難しい人、読めても話すことが難しい人、カタカナやひらがなを読むことが難しい人、思っていることと違う単語が出てしまう人、話されていることの理解が難しい人など、様々です。

— 失語症はなぜ起こるのでしょうか。

脳卒中などの病気や頭部外傷、低酸素脳症などで脳の言語を司る部分がダメージを受けたことで起こります。後天的なもので、できていたことができなくなっていることや周りからは症状が見えないために理解されにくい障がいです。

— 磯嶋さんは失語症者向け意思疎通支援者ということですが、実際どんなことをされるのですか。

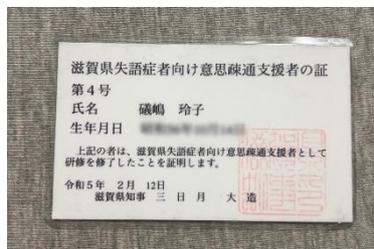
今は当事者の会で当事者さん同士の会話のフォローなどを行います。それぞれの症状に合わせて対応しますが、私はうまくできないことも多いので、「私の友達になってください」という気持ちでやっています。当事者さんにどうしたらわかりやすいかアドバイスをもらったりもしていて、皆さんが私の先生になってくれています。当事者の会では私と当事者さんたちで大笑いしながら世間話をすることもよくあります。



当事者会の様子

— この資格を取得されたきっかけは何ですか。

夫の母が15年ほど前に脳梗塞による失語症を発症しました。知識がなく、どうしていいかわからずに一人で闘わせてしまった。義母は話せなくなったことで、人と会うことができなくなった時もありましたが、持ち前の負けん気で社会と繋がりを、ずいぶん話せるようになりました。でも困ることはたくさんあるようです。そしてそんな強い人ばかりではない。明日、私や身近な人が発症するかもしれない。発症し障がい当事者になった時にも希望を持てる環境を作りたい。そう思った時に、滋賀県でこの養成講座が始まると知り、令和5年に1期生で受講しました。



— どのような勉強をするのですか。

受講料は無料で、半年で40時間ほど講座に通います。失語症がどのように起こるか、どんな困りごとがあるか、どのようなサポートができるかなど、言語聴覚士さんや当事者さんを講師として実践を交えながら学んでいきます。耳が聞こえないわけではないので大きい声で話したり、一文字ずつ話す必要はありません。単語で区切って話すほうが理解できるそうです。言葉が出ないだけなので、お気持ちを汲んで尊重することも大切です。選択肢から言いたい言葉を見つける方法や、絵や箇条書きで分かりやすくする方法なども学びます。

— 意思疎通支援者になられてから感じていることはありますか。

できなくなってしまうこともあり、そこに本人も周りも目を向けがちですが、実際はできることが多くあります。私が支援者になってから仲良くなった当事者である友人たちは、それぞれ得意なことでフォローしながら一緒に計画を立て、グルメツアーにも出かけています。それぞれに合った環境と周りの理解があれば、困ることが少なくなるのではないのでしょうか。また、市役所などで支援を受ける手続きは難しいことが多いと聞いたので、個人への失語症者向け意思疎通支援者の派遣が早く始まるといいなと思います。

— これからの展望や私たちにできることを教えてください。

今年1月から草津市内で始まった、高次脳機能障害のあつまり「ちりっと近江」に私も関わっています。スタッフは全員失語症者向け意思疎通支援者で、医療・福祉従事者もいます。「当たり前」の日常が当たり前にある場所」をモットーに、当事者さんだけでなく、地域の方も一緒に楽しい時間を過ごしてもらえたいと思っています。坂本や堅田、愛知川でも失語症の会が開催されています。

誰もがいつなってもおかしくない障がいです。症状・対応・福祉制度などを知っておくことが大切です。その失語症の知識が、当事者さんやそのご家族だけで抱えてしまわずにすむ環境に繋がると思います。

失語症者向け意思疎通支援者養成講座は毎年夏に募集されるので、多くの方が受講してくださいと嬉しいですね。〈了〉



当事者アドバイザーを含む「ちりっと近江」スタッフ



あつまれ☆老上のまち

募集のページ



♪一緒に歌いませんか!?

コーラスどりいむ

(女声合唱団) 団員募集

★アットホームな雰囲気合唱団です。現在40代~80代まで、様々な年代の団員がつどい、楽しく歌っています。

★合唱経験者、未経験者どなたも大歓迎!! (年齢不問)

★練習曲は、合唱曲以外にもポップスや歌謡曲にも挑戦!

★随時見学していただけます。

★練習日: 毎月第1・3・4水曜日
13:30~15:30

★練習場所: 老上まちづくり
センター大会議室

「ふれあい老上まつり」

企画委員 募集

令和7年度「第31回ふれあい老上まつり」の企画委員を募集します。企画から当日の運営全般を、あなたのアイデアで盛り上げて下さい。

おいかめちゃんクラブ

月1回土曜日に大人と子どもが一緒になって、老上の未来を創作し紙芝居に創り上げています。想像力豊かに楽しく老上の未来を夢見ながら、活動しています。「夢を形に…」ご参加お待ちしております。

情報発信委員 募集

情報発信委員会では、“わがまち老上だより”を年4回、老上の旬を沢山の人に知ってもらいたいと、老上愛あふれた素人が、企画から作成しています。取材、原稿、レイアウトに悩むこともありますが、編集会議でみんなで話合うことで安心に変わります。ボランティアや仕事、家庭が忙しくても、参加できるところで仕事を分担しています。少しでも興味があれば、是非一緒にしてみませんか?お待ちしております!

★問合わせ先: 老上まちづくりセンター (077-564-1430)



老上まちづくり協議会振り返り

~賑わいとふれあいの交流があった1年~

今年度1年間を振り返りますと、先ずは賑わいの戻った第30回ふれあい老上まつりを開催できたことが一番大きな出来事であり、これも長年にわたり学区の皆様と共に開催されてきたこと、親しまれてきたことの積み重ねであり、改めて御礼申し上げます。

また、敬老会や、高齢化が進む中で新たに企画した健康に関する身体づくり事業「老上チャレンジスポーツ健康フェスタ」を開催しました。どちらも、多くの皆様に参加して頂きありがとうございました。

~継続は力なり!~

青少年育成区民会議では、重点項目として「あいさつ運動」の推進と、見守り活動による青少年にふさわしい環境づくりの推進を掲げ、毎月8日朝の登校時のあいさつ運動と、7月から月2回程度の「愛の声かけパトロール」を実施してまいりました。

現在、駅前マンションや新興住宅地による人口増加により、老上学区に、若さと元気な賑わいのある街になる活力をいただいております。

今まで培ってきた安全安心なまちづくりと、人と人がふれ合えるコミュニティーづくりをこれからも継続していきたいと考えています。また、老上まちづくりセンターが交流の活動拠点になるよう努めていきます。

老上学区まちづくり協議会 会長 山本 清治

あいさつ運動は30年以上前に「夢街道あいさつ通り」として始まり地道に続けてこられた活動で、その成果は確実に表れてきております。声かけパトロールも同様に地道に、これからも続けてまいりたいと思っております。

青少年育成区民会議 会長 熊川 勉

~老上チャレンジスポーツ健康フェスタ~

11月23日「健康推進」をテーマに老上学区体育振興会の「チャレンジスポーツデー」とコラボし「健康フェスタ」を開催しました。

「健康チェック・健康推進員・国スポ障スポ・体カテスト」の4つのブースからなり、外部の大勢の方の協力をいただきながらの開催、とりわけ光泉高校野球部の若人に体カテストのブースを手伝ってもらい大盛況でした。

飲み物・食べ物の中の塩分、糖分の多さをクイズ形式や視覚に表し注意喚起したり、普段体験しない体カテストで自分の年齢に対する評価を数値で自覚できたり…



これを機会に健康づくりに留意していただければ幸いです。

健康推進部会長 古市 猛



こく しょう し が だい だん 国スポ・障スポ2025in滋賀～第2弾～

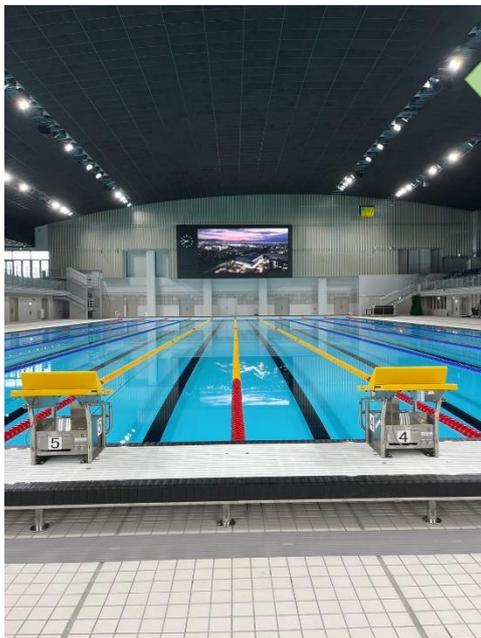
ことししがけん かいさい ことく しょう しょうえい と こ すいきゅう きょうぎ あたら
今年滋賀県で開催される国スポ・障スポ。競泳や飛び込み、水球などの競技は新しく
できたインフロニア草津アクアティクスセンターで行われます。この施設を徹底的に取材しました。



2024年の8月1日にオープンしました。
西大路町の草津警察署横に作られ、
JR草津駅徒歩10分の便利な場所です。



そうかつせきにんしゃ こばし おわた
総括責任者の小橋さんとスタッフの村田さん
に館内を案内してもらい、お話を聞かせても
もらいました。



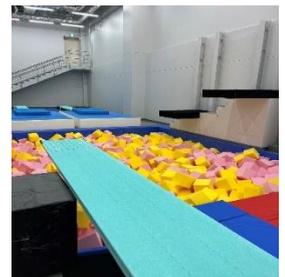
50mのメインプールは10コースあり、競技によって仕切りで25mずつに分けることができます。水深は0～3mまで調節可能です。プールの水は常に循環していて、水質が綺麗だそうです。

飛び込みプールは水深最大5mで、飛び込み台は1m, 3m, 5m, 7.5m, 10mと高さが5段階あります。パリオリンピック銀メダリストの玉井陸斗選手もこのプールを本拠地として練習しています。



メダリストの玉井陸斗選手やおおはしゆい選手、ここを訪れたまつおかしゅうぞう松岡修造さんなどのサインが飾られています。

地下1階には、飛び込みの練習ができるドライランドという施設があります。



<今月の担当> 取材・調査…はると、りほ 写真…はると イラスト…きょうま
タイトル・説明文…あかり 取材まとめ・パソコン…りほ ルビ打ち…えみり